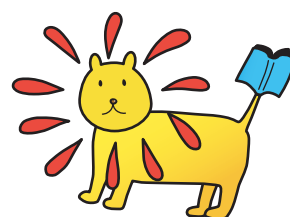


りぶらサポータークラブ 平成 26 年度 活動報告書



平成 27 年 3 月
りぶらサポータークラブ



りぶらいおん©LSC



りぶらサポータークラブ平成 26 年度 活動報告書

平成 27 年 3 月

りぶらサポータークラブ

〒 444-0059 岡崎市康生通西 4 丁目 71 番地

岡崎市図書館交流プラザ市民活動センター内

TEL : 0564-23-3114 FAX : 0564-23-3142

携帯 : 070-5252-7263 070-5333-1842

info@libra-sc.jp <http://www.libra-sc.jp>

目 次

ごあいさつ	…… 2
りぶらサポータークラブの沿革	…… 3
平成 26 年度の事業一覧	…… 5
平成 26 年度事業報告	
会議・広報	…… 6
りぶらまつり 2014	…… 7
サポーターマネジメント会員研修	…… 8
会員研修	…… 9
シネマ・ド・りぶら	…… 10
りぶら講座	…… 12
図書館サポート・狂言勉強会	…… 13
りぶら いきものみつけ隊	…… 14
外国人が日本語の歌を歌うのだ自慢大会	…… 15
冬のコンサート	…… 16
七夕飾り・子ども遊びワークショップ	…… 17
平成 27 年度の運営方針	…… 18

ごあいさつ

平成 20 年秋に岡崎市図書館交流プラザ・Libra のオープンとともに発足した「りぶらサポータークラブ」も 6 年を過ぎ、次第に落ち着いた会になってまいりました。りぶらオープン前のワークショップでは、年間 100 万人の方の入場を想定していましたが、予想をはるかに超える 140 万人の方が利用してくださる施設になっています。サポータークラブはりぶらを利用する方、働いている方、多くの市民の方たちをサポートすることを目的として活動しています。市民と行政が協働して企画運営する事業を実現したいと、26 年度も 8 事業以上を運営してまいりました。

市民同士が学びあう「りぶら講座」も年 3 回実施し、24 年度の開講以来 600 回以上の講座に 5,000 人以上の方が参加してくださいました。多くの方が学びたい、教えたいと生涯学習に意欲があることが証明されていると思います。これをきっかけに岡崎市全体に広がって、市民の生涯学習が推進されていくことを期待しています。

もう少し気軽に文化をという方には、「シネマ・ド・りぶら」で往年の名画や最新の映画を楽しんだり、「冬のコンサート」では高校生のグループから熟年者・高齢者のグループまでの合唱をお堀通りで楽しんでいただきました。

「外国人が日本語の歌を歌うのだ自慢大会」では、ブラジルの方、韓国の方、中国の方、フランスの方、アメリカの方などいろいろな国の方が参加してくださいました。プロかと思うほど上手な方もあり、皆さん歌の好きな方で、顔なじみの方も出てきました。会場には日本人も多く、りぶらで国際交流が生まれているのではないかと思います。

「りぶら いきものみつけ隊」では、りぶらの中に留まらず、西の川からお城まで歩きながら虫や魚、植物を見て、参加した親子さんは、普段何気なく歩いて気づかない新しい発見をして喜ばれています。

普段はこのような地道な活動をつづけながら、りぶらが日常的に市民の活動場所になるように努力しています。しかし、まだりぶらに来たことのない方も足を運んでもらうために、また、多くの団体との交流のために、秋には「りぶらまつり」を行っています。26 年度も多くの方に参加していただき、2 日間で 12,000 人以上の入場者がありました。普段は別々に活動している団体が実行委員会を通して顔なじみになり、その後のつながりに発展して行くことを願っています。

26 年度の活動を踏まえ、27 年度もより充実した活動を展開したいと思っています。どうぞ、ご支援をよろしくお願いします。

りぶらサポータークラブ
代表 山田美代子



設立趣意

私たちは、岡崎市図書館交流プラザ(愛称 Libra(りぶら)、以下 Libra)の開館に向けて、平成 16・17 年度に行われた設計・運営に関する市民検討ワークショップに参加してきました。その中で、「Libra を市民の力でより良い施設とするため【りぶらサポーター】として活動しよう!」という気運が盛り上がり、平成 18 年度より、りぶらサポーター活動を発足させました。そして、Libra を活用するときに必要と思われることを考えながら、私たち市民の自発的かつ多面的なサポーター活動の実践を行ってきました。

その活動の中から、「Libra」は単なる施設の名称ではなく、「岡崎市全体の生涯学習の象徴」であることが共有されました。そして、市民がその運営に積極的に参画する仕組みを継続的に確保する必要があることに気づかされました。

Libra が目指すところは「市民が気軽に訪れて楽しく利用することができる施設」、「交流や周辺地域の賑わいを生み出す施設」、「図書館を核とした生涯学習施設」です。それを真に実現するためには、これまでのように運営を行政まかせにするのではなく、私たち市民が積極的に提言・評価をすることが必要です。また、市内全体の生涯学習や市民活動の連携や協働を、市民が主体となって進めていくことが重要です。

Libra を中心に、岡崎市全体の文化向上、市民相互の交流および地域の活性化、生涯学習の発展を進めるためには、以下の認識を共有しなければなりません。

- ・市民自らが施設の運営に参画する重要性
- ・既に協働関係にある各市民団体やプロジェクト活動を市民参画の仕組みとして継続させる必要性
- ・市民、教育機関、企業・事業者、行政が連携・協働のもとに、それぞれの役割と責任を担うという「新しい公共」の発想の下、岡崎市全体の市民活動・生涯学習を統合する市民組織の必要性
- ・自らが住む地域への主体的な参加意識の重要性

ここにおいて私たちは、Libra の運営と事業への市民参画の観点から、多様な市民活動を支援し、連携・協働を進めるために積極的な役割を果たすことが必要と考えました。そして、Libra をより魅力的な施設にするための活動を通じて、民・学・産・官の連携・協働を進めるために積極的な役割を果たすという「新しい公共」の理念を社会に浸透させ、市民相互の交流の活性化と、岡崎市全体の文化向上および生涯学習の発展に寄与することを目的に、行政から自立し、かつ対等な関係を保ちながら協働する市民活動団体として、「りぶらサポータークラブ」を設立しました。

2008 年 11 月 8 日設立

市民参画（「Libra」のホームページから）

図書館交流プラザが出来上がるまでには、設計から管理運営の計画まで、多くの市民が関わっています。

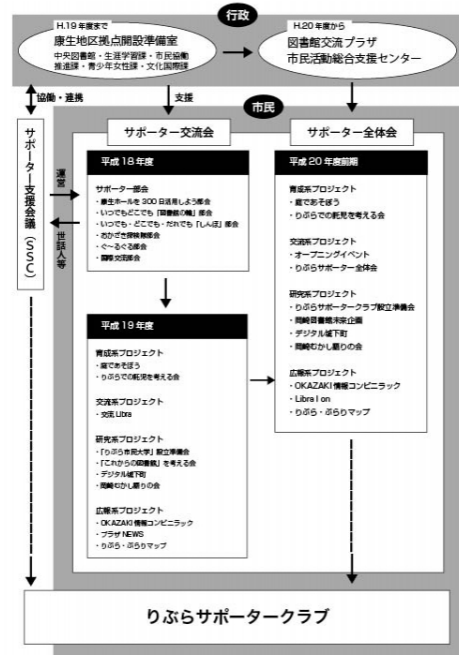
平成 16 年度に始まった市民検討ワークショップにおいては、市民と設計者・行政が参加して、施設の大まかな配置計画（基本設計）を作り上げました。

平成 17 年度には、前年に引き続いて市民検討ワークショップが行なわれ、施設の詳細設計（実施設計）と、建設後の管理運営に関わることで検討事項が広がってきました。また、このワークショップで話されたことを活かしていくため、いくつかの市民主体のグループを作り「部会」として活動していくことが提案されました。

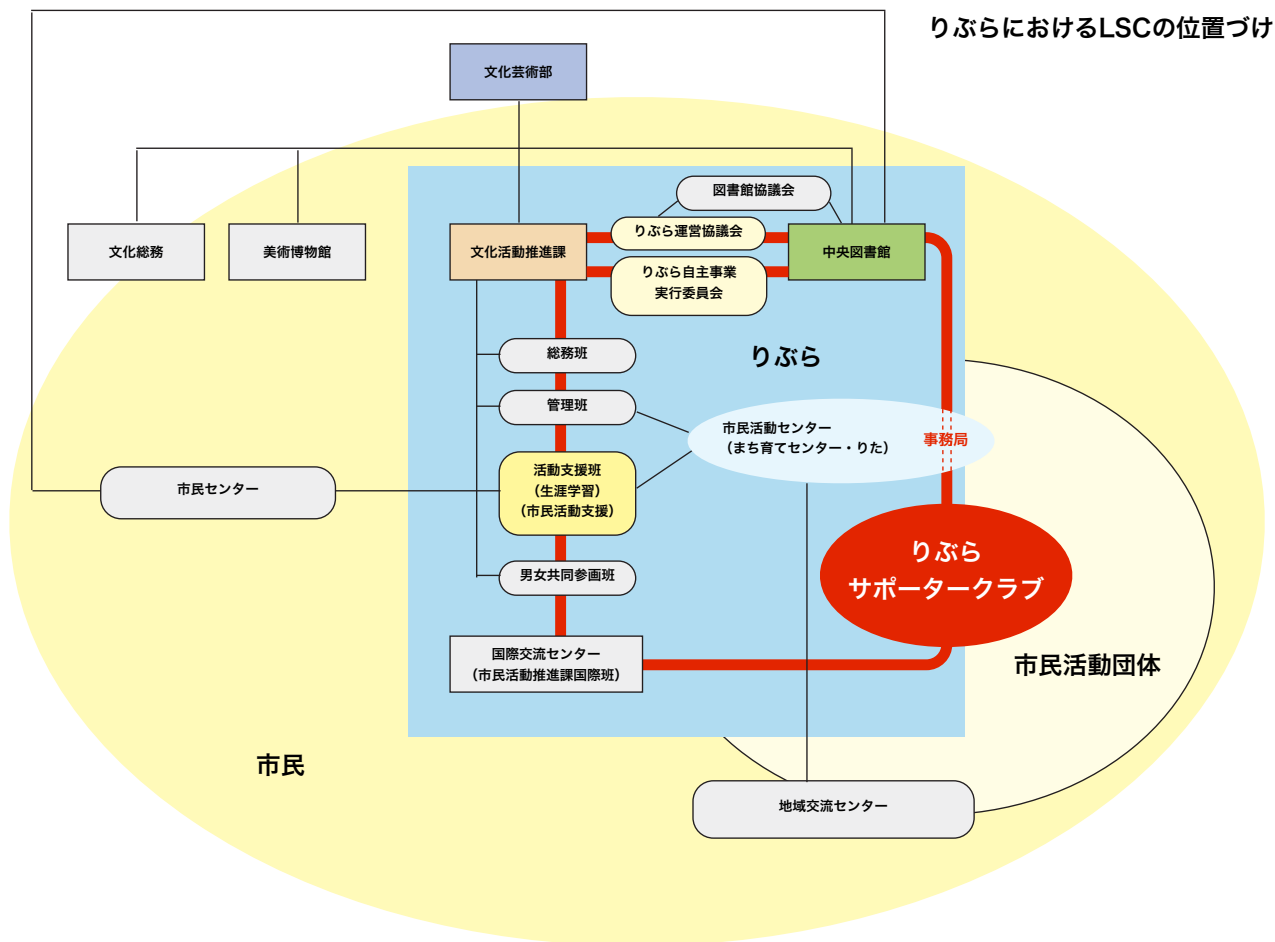
平成 18 年度からは、市民からの提案や「より深く関わっていきたい」との市民の声を受け、市民と行政との協働を模索し始めました。前年の提案は、この施設をよりよいものとしようとする「サポーター」と呼ばれる市民により、主体的な活動としての「部会」となり、実験的事業が行なわれました。また、部会の代表者や市民有志がサポーター支援会議（通称：SSC）を組織し、サポーター間の情報交換や出会いの場として「サポーター交流会」を行政とともに企画運営しました。

平成 19 年度は、主に場所ごとに集まっていた「部会」を発展的に解消し、より具体的な活動ごとに集まる「プロジェクト」に移行しました。広報系・育成系・研究系・交流系と 4 つの系統に分類されたプロジェクトでは、フリーペーパーの作成や託児の検討など「誰が、何を、いつ」行うのかということを強く意識し、活動する市民の姿が具体的にになってきました。

設計のコンセプトの一つである「市民とともに成長する」施設として、市民と行政の協働を模索しながら進め、平成 20 年 11 月の開館後も取り組みを継続します。



りぶらサポータークラブの沿革



りぶらサポータークラブの事業の仕組み

利益＝協働による活性化と発展
顧客＝りぶらの利用者

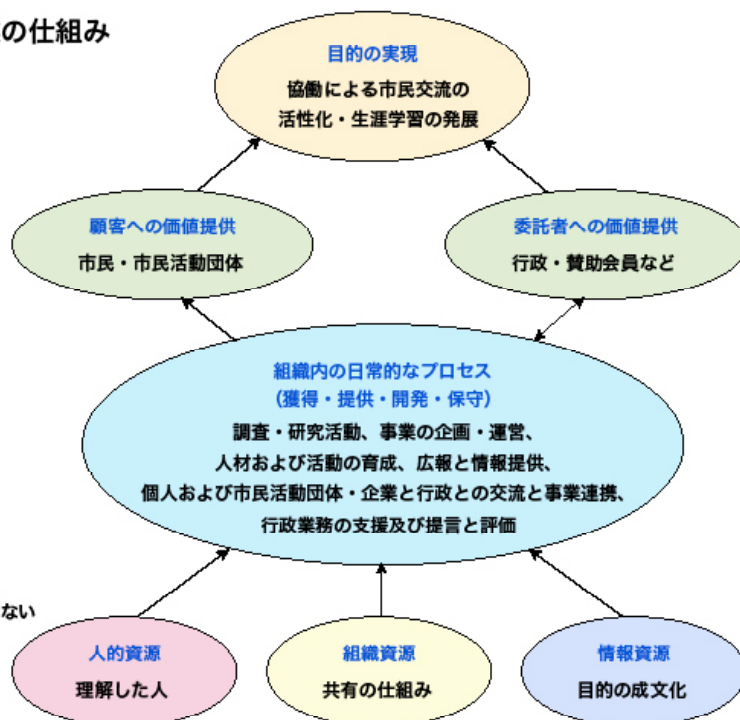
↓
利用者の喜び

↓
目的の実現

↓
委託者である行政の満足

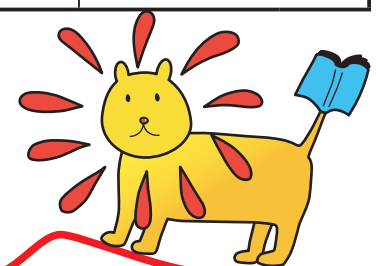
注意すべきこと

↓
行政の下請けにならない…… お伺いを立てない
圧力団体にならない…… 一方的に押さない
お客様にならない…… お膳立てを要求しない
評論家にならない…… 知らない、
わからない、
を当然としない



平成 26 年度の事業一覧

区分	事業		開催日	活動主体	担当
運営	総会		5/25（日）	役員	山田
	運営委員会		月 1：月曜日 18:30 ～	運営委員	
	会員研修会		6/28（土）	運営委員	
	会員懇親会		10/19（日）・3/1（日）	運営委員	
	サポーターマネジメント		随時	事務局	
	広報	情報誌編集	6/1・9/1・1/1・3/1 発行	事務局	戸松
		ホームページ運用・更新	随時		
		りぶらグッズ	随時		
	りぶらまつり		11/15・16（土・日）	実行委員	杉浦
活用	図書館 サポート	書架整理	サポーター他	山田	山田
		本の清掃・緑化	第 1・第 3 木曜日 10:00 ～	サポーター他	石尾
	りぶら講座		前期（4 月～ 7 月） 中期（8 月～ 11 月） 後期（12 月～ 3 月）	事務局	戸松
	シネマ・ド・りぶら		4・6・9・10・12・1・2 月 第 3 木曜日 ① 10:30 ～ ② 14:00 ～	サポーター他	森崎
	りぶら いきものみつけ隊		第 3 日曜日 (4 月・11 月を除く 10 回)	サポーター他	杉浦
	冬のコンサート		12/20（土）	運営委員	石尾
	外国人が日本語の歌を歌う のど自慢大会		2/1（日）	実行委員	前川
	狂言勉強会		4 月・5 月	サポーター他	杉浦
	子ども遊びワークショップ		8/2・3（土・日）	サポーター他	山田
参画	七夕飾り		7/1（火）	サポーター他	
	図書館 まつり	『じんじん』上映会	8/21（木）	実行委員	戸松
		本の清掃	8/21（木）	サポーター他	石尾
	図書館交流プラザ運営協議会		8/8（金）・2/20（金）	山田・森崎	
派遣	図書館交流プラザ自主事業実行委員会		4/28（金）・10/27（月）・2/26（木）	石尾	



会 議

総会 日時： 5 月 25 日 (日) 13:30~14:20
場所： 会議室 103

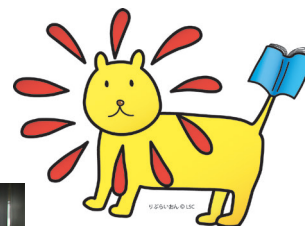
運営委員会

開催日	時 間	内 容
4 月 14 日 (金)	18:30 ~ 20:20	図書館まつり・総会・りぶらまつり・広報について
5 月 12 日 (月)	18:30 ~ 20:30	総会・『じんじん』上映会について
5 月 25 日 (日)	14:30 ~ 15:30	りぶらまつり説明会について
6 月 9 日 (月)	18:30 ~ 20:00	りぶらまつり・会員研修・情報誌について
7 月 7 日 (月)	18:30 ~ 20:00	りぶらまつり・参画事業について
8 月 4 日 (月)	18:30 ~ 20:00	りぶらまつり・『じんじん』上映会について
9 月 8 日 (月)	18:30 ~ 20:30	りぶらまつり・サポーター懇親会について
10 月 6 日 (月)	18:30 ~ 20:00	りぶらまつり・サポーター懇親会について
11 月 4 日 (月)	18:30 ~ 20:30	りぶらまつり・事業報告について
12 月 8 日 (月)	18:30 ~ 20:40	冬のコンサート・のど自慢大会について
1 月 13 日 (火)	18:30 ~ 20:30	のど自慢大会・懇親会・次年度事業案について
2 月 2 日 (月)	18:30 ~ 20:30	サポーター懇親会・次年度運営体制について
3 月 2 日 (月)	18:30 ~ 20:10	次年度事業・予算案・まつり運営について

広 報 <http://www.libra-sc.jp>



りぶらまつり 2014

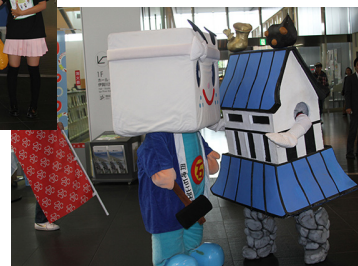


集まれ!! みんなで交流しよう

11月の15日(土)・16日(日)。第6回目となる「りぶらまつり」が開催されました。今年のテーマは「集まれ!! みんなで交流しよう」でした。りぶらのテーマである市民の交流と生涯学習へのきっかけ作りの場となるように、さまざまな企画が展開され、多くの市民が楽しい2日間を過ごしました。

幕開けは、Beanzzの楽しく賑やかな演奏。そして、岡崎図書館総合プラザの石川館長のご挨拶と、「おかぷろ」実行委員長の開会宣言で2日間のりぶらまつりが始まりました。館内の会議室やホールはもちろん、お堀通りを含む全館で、りぶらで活動する市民団体や様々な分野の実行委員が、工夫を凝らした企画を展開しました。

また、これまでのりぶらまつりで行われていた「りぶらいおんこねぶた」のパレードに代わり、動く「りぶらいおん」が登場! いろいろな企画の案内をしながら、ホールのステージでは「おかぷろ」の皆さんとともに、岡崎の紹介をしました。そして、「岡崎応援キャラクター隊」のつぶさん・クジ夫くん・てんかくん、まめ吉・フジ犬くん・みそざきくん・団吉くんとさくらホームルーム&岡崎miso娘がまつりを盛り上げてくださいました。



【りぶらまつり 2014 の記録】

来館者数	15日	6,113人
	16日	6,202人
	合計	12,315人
実行委員団体数		47
プログラム数		52
実行委員参加スタッフ数		430人
ボランティア数		23人
ストリート広場出店者数		7店
おみくじ(スタンプラリー参加者)		834人
寄贈景品		719点
りぶらグッズ景品		115点
説明会参加人数		48人
実行委員会参加者人数		

① 48人 ② 54人 ③ 67人 ④ 66人 ⑤ 33人

27年度も、6月の説明会から「りぶらまつり 2015」の準備が始まります。企画の段階から運営面でのサポーターを募集しています。興味と関心のある方は、りぶらサポータークラブの事務局に声をかけてください!!

【りぶらまつり 2014 の記憶 (アルバム)】はホームページで <http://www.libra-sc.jp>

サポーターマネジメント

【サポーターへの情報提供】 メーリングリスト：随時
はがき：年4回（7月、9月、12月、4月）

【サポーター懇親会】

- ・第1回 10月19日（日）13：30～ 場所：会議室103 参加者：20名
テーマ：「りぶら全体について」「事業の手伝い」「りぶらまつり」「りぶらサポータークラブ」
- ・第2回 3月1日（日）13：30～ 場所：会議室303 参加者：27名
テーマ：「みんなでやりたいこと」「LSCでやってほしいこと」「得意なこと」「その他」

【サポーター登録状況】

サポーターの種類	25年度	26年度	賛助会費	
活動サポーター	22名	12名	運営ほか	148,000
賛助サポーター	14名	13名	シネマ	99,000
活動・賛助とも	19名	3名	りぶらまつり	4,000
小計	55名	28名	のど自慢大会	12,000
合計	83名		合計	263,000

▶ 26年度は、新たに28名のサポーターの登録がありました。シネマ上映会時での呼びかけや「外国人のど自慢大会」でのイベント終了後の勧誘など、各事業で体験した方々がサポーター登録につながっています。

【活動状況（活動延べ人数）】 ※ ボランティアはサポーター未登録者。運営委員は活動サポーターから選出。

事業	回数	ボランティア	活動サポーター	運営委員	合計
書架整理	224	349	100		449
本の清掃	22	115	62	35	212
本の清掃（図書館まつり）	1	42	4	2	48
りぶらまつり	1	13	6	9	28
シネマ・ド・りぶら	6	4	27	25	56
『じんじん』試写会	1	8	3	3	14
『じんじん』上映会	1	4	3	6	13
いきものみつけ	10	2		9	11
外国人のど自慢	1	17	5	6	28
冬のコンサート	1			8	8
子ども遊びWS	1	7	6	8	21
七夕飾り	1	1	2	2	5
緑化	4	5	6	3	14
総計	274	567	224	116	907

▶りぶらをサポートする LSC ボランティアの参加人数は 23 年度からの集計で延べ約 2,900 名になりました。今年度は約 900 名の方に参加していただきました。また、多くのイベントにボランティア、活動サポーター、及び運営委員がともに参加し、コミュニケーションが取れ、活動サポーターの増加にもつながりました。

【活動状況の年度比較】

	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	総計
ボランティア	281	425	852	567	2,125
活動サポーター			144	224	368
運営委員	7	131	129	116	383
合計	288	556	1,125	907	2,876

▶ 26 年度活動状況の特記事項

- ・『じんじん』の映写会で 27 名の参加がいただきました。
- ・昨年に比べると書架整理・本の清掃のボランティアが低減しましたが、参加の皆様の努力で定着したと思われます。
- ・『外国人のど自慢大会』は、入場者の増加とともにボランティアの参加人数が増加しました。
- ・『図書館まつり』では、昨年と同様に来館者が飛び込みボランティアとして本の清掃に参加。本を大事にする経験を学んでいただきました。
- ・緑化事業へのボランティア参加が定着しました。

会員研修会（運営委員対象）

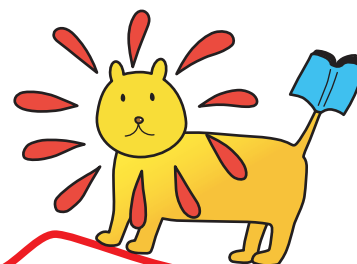
【開催日時】 6 月 28 日（土）13:30 ～ 16:30 りぶらボランティア室

【参加者】 山田、内田、戸松恵美、石尾、小竹、前川

【講 師】 戸松啓二（LSC 顧問）

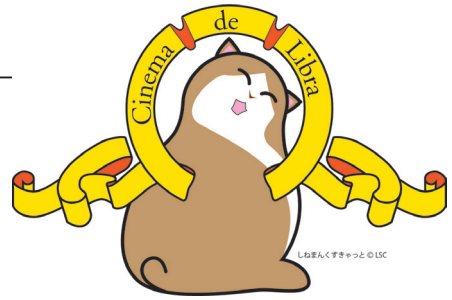
「りぶらまつり実行委員会」を進めるに当たって、ワークショップのとりまとめなど、共通の認識で進められるようにするため、「会議についての講習」と「りぶらまつり説明会」のワークショップ資料をまとめるために模擬会議を行いました。

【成 果】 「会議」に対する参加姿勢の理解が深まり、ワークショップの進め方がよく理解できました。



りぶらいおん©LSC

シネマ・ド・リぶら



【関連資料のテーマ展示】

上映映画にまつわる関連資料を、上映会前週（木）から後週（火）まで、ポピュラーライブラリーで展示しました。

【映画サロン】

上映会当日の上映開始前と終了後に、ホールのホワイエにて来場者の交流の場としてのサロンを開設しました。

【災害時の避難についてのアナウンス】

6月と9月には、ホワイエが大変暑くなることもあり、ホワイエでの映画サロン（お茶菓子提供）に替えて、ホールスタッフの協力のもと、「災害時の避難について」のアナウンスをしました。

【上映会の計画・運営】

各上映会終了後、スタッフ及びボランティアで気付き事項・諸計画・懸案事項の打合せ、及び上映会準備の情報交換を行いました。また、賛助サポーターへの呼びかけから登録が進んでいます。

【広報資料・配布資料作成】 上映会ごとに来場者配布用の「コラム・ド・シネマ」を作成しました。

【『じんじん』上映会】

『じんじん』は、北海道剣淵町をメインロケ地として、絵本を真ん中に親子の絆を描いた映画です。総務省の後援で、全国一律料金の「スローシネマ方式」で上映が進められていました。岡崎では、8月21日（木）～24日（日）の『図書館まつり』の事業として、図書館まつり実行委員会との協力で開催されました。午前の部126名、午後の部103名、夜の部99名、合計328名の方に鑑賞していただきました。

午前の部では託児のご利用もあり、「企画して下さりありがとうございました。娘を託児して、ゆっくりと見られたことに感謝します。私の実家は北海道旭川でとても懐かしく、風景を見て涙が出ました。求めている愛の形が違うことで親子が

【上映会】リぶらホール

開催日	上映回数	上映作品	参加人数
4月17日（木）	2回	バグダッド・カフェ	322人
6月19日（木）	2回	舞踏会の手帖	375人
8月21日（木）	3回	じんじん	368人
9月18日（木）	2回	嵐が丘	423人
10月16日（木）	2回	英国王のスピーチ	432人
12月18日（木）	2回	武器よさらば	284人
1月15日（木）	2回	死刑台のエレベーター	290人
2月19日（木）	2回	フラガール	332人
8日	17回	合計	2,826人



すれ違ってしまふ。とても心に響きました。家に帰ったら子ども達に

たくさん本を読んであげて、またゆっくりした時間を作りたいものです」という感想を書いてくださいました。

また、大地康雄さんのファンという方や、ラジオで大地さんの話を聞いたという方もいらっしゃったようです。「子どもに伝える思いがとても感動的に描かれていました。また、子どもの心に残るものというものも考えさせられました」というように、大勢の方に「よかった」「感動した」という感想を書いていただきました。そして、「ぜひ、剣淵町へ行ってみよう！」という方も何名か。

岡崎にも、絵本や映画を通して感動を伝える活動をしている方々がいます。その拠点となっている「リぶら」での『じんじん』の上映会でした。

シネマ・ドリぶら上映会参加者数（観客＋スタッフ）の推移

No.	上映作品	製作	上映日	参加者(人)
第1回	第三の男	(1949年 イギリス)	2009/10/8	151
第2回	アパッチ砦	(1948年 アメリカ)	2009/12/10	81
第3回	禁じられた遊び	(1951年 フランス)	2010/3/11	110
第4回	嵐が丘	(1939年 アメリカ)	2010/4/10	270
第5回	道	(1954年 イタリア)	2010/6/10	278
第6回	少林サッカー	(2001年 香港)	2010/8/19	71
第7回	地下室のメロディー	(1963年 フランス)	2010/10/7	141
第8回	私の頭の中の消しゴム	(2004年 韓国)	2010/12/2	100
第9回	素晴らしき哉、人生	(1946年 アメリカ)	2011/2/3	205
第10回	第三の男	(1949年 イギリス)	2011/4/14	223
第11回	おくりびと	(2008年 日本)	2011/5/12	176
第12回	巴里祭	(1933年 フランス)	2011/7/14	181
第13回	キリマンジャロの雪	(1952年 アメリカ)	2011/8/25	228
第14回	死刑台のエレベーター	(1957年 フランス)	2011/10/13	260
ドリぶら祭	ローマの休日	(1954年 アメリカ)	2011/11/13	120
第15回	誓いの休暇	(1959年 ロシア)	2011/12/8	150
第16回	麦の穂をゆらす風	(2006年 イギリス)	2012/2/16	205
第17回	バルカン超特急	(1938年 イギリス)	2012/4/19	261
第18回	雨に唄えば	(1953年 アメリカ)	2012/6/21	280
第19回	黄色いリボン	(1949年 アメリカ)	2012/8/23	300
第20回	ヘッドライト	(1955年 フランス)	2012/10/18	306
第21回	グレン・ミラー物語	(1953年 アメリカ)	2012/12/20	384
第22回	4分間のピアニスト	(2006年 ドイツ)	2013/2/21	396
第23回	夜の騎士道	(1956年 フランス)	2013/4/18	329
第24回	西部の男	(1940年 アメリカ)	2013/6/20	266
第25回	禁じられた遊び	(1951年 フランス)	2013/7/18	352
第26回	父と暮らせば	(2004年 日本)	2013/8/22	419
第27回	ローマの休日	(1954年 アメリカ)	2013/10/17	438
第28回	それでも生きる子供たちへ	(2005年 イタリア/フランス)	2013/12/19	206
第29回	道	(1954年 イタリア)	2014/1/16	333
第30回	そして誰もいなくなった	(1945年 アメリカ)	2014/2/20	374
第31回	バグダッド・カフェ	(1987年 西ドイツ)	2014/4/17	322
第32回	舞踏会の手帖	(1937年 フランス)	2014/6/19	375
図書館まつり	じんじん	(2013年 日本)	2014/8/21	368
第33回	嵐が丘	(1939年 アメリカ)	2014/9/18	423
第34回	英国王のスピーチ	(2010年 イギリス/オーストラリア)	2014/10/16	432
第35回	武器よさらば	(1932年 アメリカ)	2014/12/18	284
第36回	死刑台のエレベーター	(1957年 フランス)	2015/1/15	290
第37回	フラガール	(2006年 日本)	2015/2/19	332

りぶら講座

事業の目的

- ① りぶらでの生涯学習の推進をすること
- ② 市民の皆さんの学びのきっかけをつくること
- ③ 市民・団体・事業者が持つ「特技」を市民の皆さんの学びに活用すること
- ④ りぶら施設の活用を進めること



活動実績

	開催日	講座数	講師数	受講者数
24 年度前期	6/19 (火) ～ 10/16 (火)	36	38	417
24 年度後期	12/18 (火) ～ 3/24 (日)	69	66	868
24 年度合計		105	76	1,285
25 年度前期	6/2 (日) ～ 8/26 (月)	86	81	780
25 年度中期	9/1 (日) ～ 11/23 (土)	42	36	340
25 年度後期	12/5 (木) ～ 3/27 (木)	72	58	552
25 年度合計		200	113	1,672
26 年度前期	4/7 (月) ～ 7/29 (火)	107	83	898
26 年度中期	8/1 (金) ～ 11/29 (土)	110	72	699
26 年度後期	12/8 (月) ～ 3/30 (月)	98	59	616
26 年度合計		315	125	2,213

※ 講師の合計人数は実数、受講者数は延べ人数です。

【これまでの「りぶら講座」について】

- ・ テーマの内容は多岐にわたり、講師の話を聞く座学的な「学ぶ」講座、その場で物を「作る」講座、身体を運動的に「動かす」講座、「体験する」講座に大別されました。
- ・ 「りぶら講座」は講師料・参加費・会場費が無料であり、テーマはほぼ講師の自由に任されていて自由度が非常に高い。ここが市民センターや地域交流センターで開催されている講座との大きな違いといえます。
- ・ 女性と男性の比率は 7 : 3 と女性が多い。年代別では、男性は 60 代がピークで 50 代から 70 代で 87% を占める。女性は 60 代を中心に幅広い世代が参加しています。
- ・ 講師の活動機会を増やすことができました。「りぶら講座」の登録講師は現在 203 名です。
- ・ 施設の活用ができました。→ 講座数参照
- ・ 受講者数が限られてきました。

【これからの「りぶら講座」について】

りぶらサポータークラブでは、これまで行われてきた「りぶら講座」をモデルに、全市的な展開を進めていくことが市内全体の生涯学習の拡がりにつながると考えていますが、それには、行政および中間支援組織との調整が必要です。

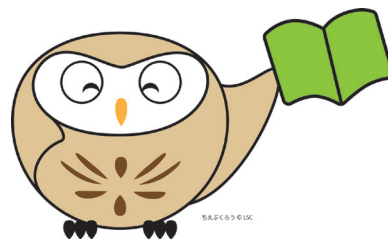
岡崎市では、このたび従来の市民講師登録制度を見直し、新たに「岡崎市民ボランティア講座」として運用することとなりました。この制度は、市民や団体に無償で行っていただける講座を登録し、受講を希望する市民のグループに紹介する制度です。

募集が始まったばかりの状況ですので、平成 27 年度の「りぶら講座」は、これまで通り、年 3 回の講師募集と講座の開催を予定しています。平成 28 年度以降は「岡崎市民ボランティア講座」も活用しながら、全市的な展開に取り組んでいくことを考えています。

図書館サポート

26 年度、「岡崎図書館未来企画」の事業はありませんでしたが、図書館のサポート事業として、「書架整理」と「本の清掃」に多くのサポーターおよびボランティアの参加がありました。また、時には本の清掃に替わり、CD のラベル貼りをすることもありました。8 月には、「図書館まつり」の企画として、一般の方にも本の清掃を体験していただきました。

3 月の「本の清掃」では、参加者 12 名（内男性 2 名含む）とスタッフ 2 名が「岡崎ホームニュース」の取材を受けました。子ども本 300 冊は、かなり読み廻されていたらしく、汚れていたり破れたり、ページ外れ等もありました。取材の方にも、本の現状や、参加者が真剣に汚れをチェックしながらもみんなでお話を楽しんでいる様子が伝わったと思います。



書架清掃は随時、本の清掃は毎月 2 回（第 1・第 3 木曜日）を基本に活動。

月	書架整理	本の清掃
4 月	58 人	16 人
5 月	40 人	22 人
6 月	64 人	21 人
7 月	46 人	19 人
8 月	24 人	56 人
9 月	33 人	20 人
10 月	32 人	21 人
11 月	28 人	20 人
12 月	28 人	14 人
1 月	14 人	20 人
2 月	39 人	8 人
3 月	43 人	23 人
合計	449 人	260 人

狂言勉強会

平成 24 年度から始まった「大藏流狂言 りぶら狂言教室・狂言鑑賞会」は、平成 26 年度を迎えるにあたり、市民活動団体として独立したかたちでの狂言勉強会を実施していただくために、5 月末日までのサポートを行いました。

【活動日】 4 月 13 日・4 月 27 日・5 月 11 日（勉強会およびお稽古）

5 月 24 日奈良篠基会定期発表会（奈良公会堂能楽堂）参加（出演）。

6 月には市民活動団体として「岡崎で狂言を楽しむ会」の発足に至り、新たに「りぶらサポータークラブ」でインキュベートした市民活動団体が誕生しました。その後は、狂言のお稽古の他、参加見学自由での「狂言サロン（狂言の勉強会）」、「狂言発表会（10 月 25 日）」、「狂言宝の槌鑑賞会（家康生誕祭）」のお手伝い等々、「りぶらサポータークラブ」で培ったノウハウを活かしての活動に取り組んでいます。



りぶら いきものみつけ隊



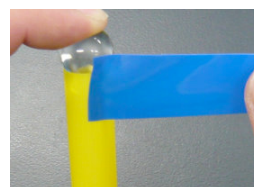
「りぶらいきものみつけ隊」は、2010年6月20日の発足以来、「りぶら」周辺の自然観察や環境省生物多様性センターの「いきものみつけ」（期間2008年7月1日～2013年12月31日）に参加して、最終的には全国2位の報告数を誇ってまいりました。

環境省生物多様性センターの「いきものみつけ」の終了後も2014年度の活動を続け、種々の「いきもの」を実際に確認しました。身の回りで多彩な自然の「いきもの」が生息していることへの気付き、生物多様性への理解を深められるよう種々の工夫をしながら、5月18日～3月21日迄の間に10回（下表）の活動をしました。

日にち	テーマ
5月18日	夏鳥の渡り
6月15日	「ビー玉拡大鏡」を作って自然観察
7月20日	魚の泳ぎ方・・・「浮沈子」の作成
8月17日	「びんどろ」を作って魚を捕まえよう
9月21日	秋の生き物を探してみよう
10月19日	いきものの模様「写し絵」体験
12月19日	チリメンモンスター X'mas ver.
1月18日	冬のバードウォッチングを楽しもう
2月21日	クマムシを見つけてみよう
3月21日	春のおとずれを探してみよう

【活動のトピックス】

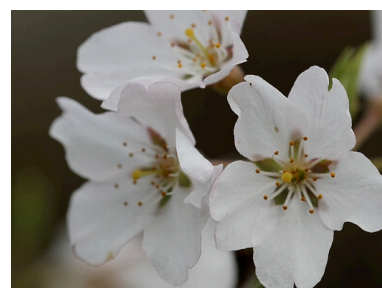
『ビー玉拡大鏡』を作って自然観察」では、ビー玉とストローを使った拡大鏡を作成して小さいいきもの観察を楽しみました。



「クマムシを見つけてみよう」では、「りぶら」と「シビコ」の間の歩道上の少し乾燥した苔（ギンゴケ）を採取して、簡易ベールマン装置を利用して分離したクマムシを拡大鏡で確認しました（実際には事前に用意しておいた分離液を利用）。



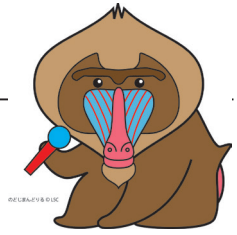
「魚の泳ぎ方：『浮沈子』の作成」では、4種類の魚の泳ぎ方を勉強して、ペットボトルを利用した「浮沈子」を作成して、パスカルの原理・アルキメデスの原理にも触れました。



また、「いきものみつけ隊」最終回の「春のおとずれを探してみよう」では、タンポポの花や、シロバナタンポポ・ハナノキ・シロツメグサ・ユキヤナギ・スズメノヤリ・スズメノカタビラ・ヒメオドリコソウ・ホトケノザ・オドリコソウ・キュウリグサ・ヤクシソウ・ナズナ（ペンペン草）・オオイヌノフグリ・ツクシ等を観察し、岡崎公園で一番最初に咲くと言われているソメイヨシノの木の蕾の中に開花した花を見つけ、なかなか姿を見せないトラツグミや、なんと突然変異だと思われる、白いシジュウカラまで確認しました。1年を通じて、改めて自然の大切さを感じた活動となりました。



外国人が日本語の歌を歌うのだ自慢大会 vol.5



	出演者氏名	国籍	曲目	結果
1	ズウリ・ラム・アズル	USA	恋は神代の昔から	参加賞
2	董 海燕 (トウ カイエ)	中国	時の流れに身をまかせ	参加賞
3	森口 モニカ (モリグ チモニカ)	フィリピン	流恋草 (はぐれそう) Love 〜だきしめて	入賞
4	パーク・クリスチャン・ミゲル	U.S.A	Get Along Together	参加賞
5	徐 春瑜 (ジョ シュンユ)	中国	サイレント・イヴ 明日へ賛歌	入賞
6	タカミザワ・マリー・クリス	フィリピン	夢破れて Everything	優勝
7	仲座 克洋 (ナカザ カツヒロ)	ブラジル	少年時代	参加賞
8	白 敏禧 (ペク ミンヒ)	韓国	未来へ 赤いスイートピー	審査員賞
9	歐陽 蓓 (オウヤン ペイ)	台湾	川の流れるように	参加賞
10	鈴木 施斐 (スズキ セイ)	中国	あなたに逢いたくて	参加賞
11	趙 明珠 (チョウ メイジュ)	中国	あいうえおんがく	特別賞
12	ハマダ・レイチェル・デポソイ	フィリピン	今夜も星に抱かれて Happiness	入賞
13	ゲベ・エムリーヌ	フランス	Jupiter	参加賞
14	劉 衛策 (リュウ エイサク)	中国	愛はかげろう	参加賞

2月1日(日)、第5回目となる「外国人が日本語の歌を歌うのだ自慢大会」が開催されました。来場者アンケートでは、60代の方を中心に、10代から70代の方まで幅広く楽しんでいただき、約30%の方がリピーターとして、このイベントを楽しみにいただいていることがわかりました。

【審査委員長・柏木氏の講評】

歌を練習する時に、日本語と向き合う多くの時間があつたはず。そんな時間を過ごしていただけたことを、日本人として本当にうれしく思います。日本語の意味を理解し、世界共通語である音楽に乗せて歌っていただきました。こういった交流が、世界平和へつながっていくのではないかと思います。

【「Viva おかざき!!」のコメント】

今年の出演者の方々には小さな子どもさんのいる方が多かったので、控え室も会場も大変賑やかでした。日本の教育や園での生活が分からないという不安がたくさんあるようで、お互いの情報交換の場となり、とてもいい交流の場になったなと思います。

【司 会】牧野順一

【審査員】 柏木典子 (岡崎音楽家協会代表)
浅井寮子 (リバーシブル編集長)
山田美代子 (LSC 代表)
石川啓二 (岡崎市図書館交流プラザ総合館長)
花咲里佳 (徳間ジャパンコミュニケーションズ)

【ゲスト】 後藤ウェメリン (前年度優勝者)・花咲里佳

【賞 品】 優勝者賞：ホームベーカリー&りぶらグッズ
審査員賞：ホットプレート&りぶらグッズ
入 賞：図書券&りぶらグッズ
特別賞：お菓子&りぶらグッズ
参加賞：りぶらグッズ

【参加者】 出演者 14名 ゲスト・審査員・司会者 7名
LSC スタッフ 9名 Viva おかざき!! 6名
LSC サポーター 3名 ボランティア 10名
職員 3名 来場者 220名



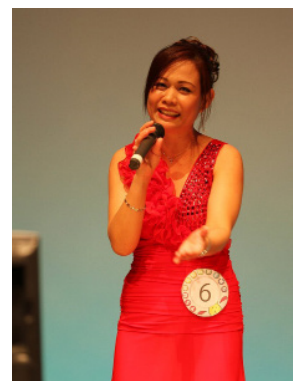
優勝 →
タカミザワ・マリー・クリスさん



↑審査員賞
ペク ミンヒさん



特別賞 →
チョウ メイジュさん



冬のコンサート

開催日：12月20日(土)

場 所：お堀通り1階

多くの来館者の皆様が、澄んだ大人の歌声・童心に戻った童謡・若者のはずんだ歌声を楽しみました。



9:30 ～ 10:00
童謡 すみれの会

「赤とんぼ」
「ジングルベル」
「ふるさとは今もかわらず」



10:30 ～ 11:00
岡崎市 PTA コーラス連盟合唱団

「チム・チム・チェリー」
「クリスマスソングメドレー」他



11:30 ～ 12:00
ワンボイス岡崎

「Yor are good」
「The night that Christ was born」他



14:00 ～ 14:30
岡崎城西高校コーラス部

「ベストフレンズ」
「ファインロード」他



七夕飾り

【開催日時】 7月1日（火）9:00～11:00
 【場 所】 103 会議室・三角コーナー
 【サポータースタッフ】 4名
 【ボランティア】 1名
 【図書館職員】 1名
 【城北保育園】 園児 28名・先生 3名

【内 容】
 1) 七夕飾りの作成、園児の手助け
 2) 飾り付け、笹を立てる
 3) 記念写真

【感 想】
 ・園児たちの話を聞きながら短冊を書いたり、折り紙で作成するお手伝いをしたり、笹に飾り付けたりしました。楽しい時間でした。
 ・今年から模造のササになりました。



子ども遊びワークショップ

【開催日時】 8月2日（土）、3日（日）10:00～15:00
 【場 所】 りぶらホール、ストリート広場
 【サポータースタッフ】 13名
 【ボランティア】 7名
 【市職員】 2名 + 建光社スタッフ
 計 22+α 名
 【内 容】 チャンバラ、風船ロケット、射的、ダイナミックお絵かき、段ボールワールドなど
 【入場者数】 8月2日：約 1,600名 3日：約 2,200名

【まとめ】
 ・参加料を取ることも2年目になり、段取り、人の流れ等順調になった。
 ・段ボール迷路がなくなり、広くなったことと、子どもの支援が楽になった。
 ・大きい子どもには少し物足りないようだった。
 ・事前の企画からかかわりたい希望を提案。



平成 27 年度の活動方針

【事務局体制の強化】

事務局員が運営委員を兼ね運営に関わることで、サポーターとの交流や事業の運営および事務処理を、より円滑に進めていけるような体制にします。

【市制 100 周年記念事業について】

平成 28 年に市制 100 周年を迎えるにあたって、「新世紀岡崎チャレンジ 100」の記念事業の公募があります。図書館も同じく 100 周年を迎えることとなりますので、「図書館を核にした生涯学習施設」にふさわしい企画の提案を検討します。

平成27年度 りぶらサポータークラブ活動計画案

区分	内 容		開催予定日	担当
運営	総会		5/24（日）	杉浦
	役員会		随時	
	運営委員会		第2月曜日 18:30～	
	事務局		月・火・木・金 13:30～16:30	小竹
	会員研修		随時	杉浦
	サポーターマネジメントと懇親会		随時	
事業	広報	情報誌編集	6/1・9/1・12/1・3/1発行	戸松
		ホームページ運用・更新	随時	
		りぶらグッズ	随時	
	図書館サポート	岡崎図書館未来企画	随時	戸松
		本の清掃	第1・第3木曜日 10:00～	石尾
		書架整理	随時	羽田
	りぶら講座		前期（4月～7月） 中期（8月～11月） 後期（12月～3月）	戸松 細井
	りぶら いきものみつけ隊		りぶら講座で各期に1回（計3回）	杉浦
	シネマ・ド・りぶら		4・5・6・8・9・10・12・1・2月（9回） 第3木曜日 ①10:30～ ②14:00～	戸松
	りぶらまつり		6/14（日） 7/12（日） 10/4（日） 11/1（日） 11/29（日）ほか随時 開催日：11/14・15（土・日）	杉浦 山田
	冬のコンサート		12/19（土）	山下
	外国人が日本語の歌を歌うのど自慢大会		2/20（日）	前川
参画	子ども遊びワークショップ		8/2・3（土・日）	山田
	七夕飾り		6/30（火）	
	図書館まつり	本の清掃	8/21（金）	石尾
		自由研究相談会	8/23（日）	山田
派遣	図書館交流プラザ運営協議会		山田・森崎	
	図書館交流プラザ自主事業実行委員会		石尾	
	岡崎市市民協働推進委員会		山田	